

大草谷津田いきものの里 自然観察会

オニヤンマはいるかな？

遠藤登志子（千葉市）

日 時：2023年9月17日(日)10時30分～12時 天気：晴れ
参加者：7名（大人4名 子ども3名）
担当指導員：木下 田島 遠藤 参加指導員：岡田

事前の連絡では、応募者が150名以上いたという。大変な人数を18名に絞ってもらったが、キャンセルなどで参加が7名になってしまったのは残念だった。9月中旬になっても真夏日が続き、観察会も汗を拭きながら、水を飲みながらの実施となった。

開始を待つ間、オニヤンマの絵本や、ヤゴの脱け殻（オニヤンマ・クロスジギンヤンマ・アカネ類）などを見てもらう。

観察会の注意事項を話している時にスズメバチが飛来したため、対処の姿勢を実践することになった。ついで、これから観察路で見られそうなトンボをいくつか紹介した後、トンボの生活史(様々な産卵方法→水中でのヤゴでの過ごし方・餌について→春の羽化)について簡単に写真をみながら話した。

観察路を進み、ノシメトンボを捕まえた。すると、手の上に産卵し始めたので皆でよく観察した。今回はノシメトンボを獲ると産卵中なのが3頭もいた。水辺ではオオシオカラトンボの連結交尾、シオカラトンボの水を飛ばしながらの産卵とみの警護が見られた。

オニヤンマもすぐ近くを何回か往復して大きな姿を見せてくれた。

また、きれいなギンヤンマも見ることができた。

観察したトンボの種類は、ノシメトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、オオアオイトトンボ、ハグロトンボ、マユタテアカネ、オニヤンマ、ギンヤンマの8種。

数少なくなったオニヤンマを観察会で今年も見られてよかった。



ノシメトンボの産卵